

教育長講義

「伊奈町の働き方改革の取組について」

- 1 伊奈町の「業務改善・働き方改革」でめざすもの
 - 「子供たちの笑顔があふれる学校」をめざして
 - ・これからの時代を教師として生きるために
 - ・これからの時代を生きる子供を育てるために

- 2 文部科学省「学校現場における業務改善加速事業」3年次の伊奈町の取組
 - (1) 学校・教育委員会・保護者・地域が一体となった業務改善

 - (2) キャリア段階（勤務年数）に応じた働き方モデルの確立

 - (3) 新しい働き方を見据えた管理職、教職員のさらなる意識改革

- 3 具体的な取組内容
 - (1) 保護者や地域住民をまじえての「熟議」を通じた改善
 - ※令和2年度コミュニティ・スクールの制度化をめざして
 - ・「学校版カエル会議」に保護者や地域住民に入っていたいだいての熟議
 - ・伊奈町業務改善プロジェクト委員会の実施
 - ・個別業務の役割分担及び適正化に向けた取組

 - (2) ホームページや学校だより、リーフレット等を通じた啓発による理解、共感、支援への取組

 - (3) 部活動の質と量の視点からの改革
 - ・生徒の自主的、自発的な参加により「熟議」を通じた改善
 - ・部活動方針に基づく部活動運営の適正化や適切な休養日の設定等の実現

 - (4) 在校時間の適切な管理及び縮減に向けた取組

 - (5) その他